

救急ボイストラ ～救急隊用多言語音声翻訳アプリの紹介～

令和8年1月



研究開発

消防研究センター、情報通信研究機構(NICT)、研究協力:札幌市消防局、羊蹄山ろく消防組合

1.背景:外国人観光客の増加→救急現場における外国語対応が増加

- ・現場滞在時間の延伸…救命率の低下を懸念。
- ・既存の多言語自動翻訳システムを導入する消防機関も出てきているが、救急用のフレーズや傷病者とのやり取りの面で使い勝手の良いものになっていない現状。→救急現場から外国語での会話の支援ツール開発を求める声が聞かれるところ(札幌市消防局など)。

2.研究開発概要(H27.10~)

外国人傷病者への救急対応を迅速に行うため、NICTの多言語音声翻訳アプリ「VoiceTra(ボイストラ)」を活用し、救急現場特有の会話内容を外国人に短時間で伝える機能・運用などの研究開発を行う。

開発イメージ 外国人と短時間かつ負担の少ない形で救急に関する意思疎通を行うための支援ツールを開発



現場での訓練等を通じた検証～改善



急病検証実験(H27.12)



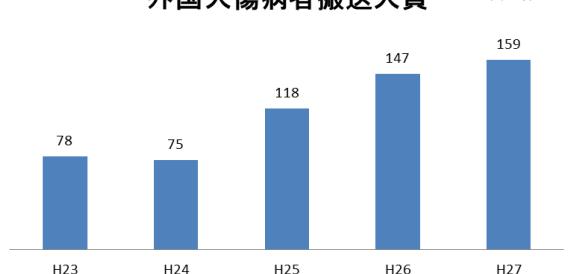
バス事故(複数傷病者)検証実験(H28.7)

(参考) 救急における外国人対応（札幌市消防局管内）

- ・外国人傷病者の搬送は近年増加している
- ・現場滞在時間(救急車が現場到着してから病院へ走り出すまでの時間)が全体平均と比べ、3~6分と延伸。外国人との会話に手間取り、時間がかかるっている。

外国人傷病者搬送人員

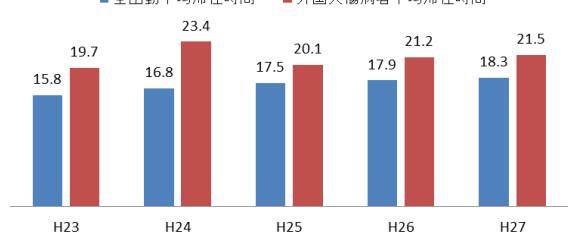
(単位:件)



現場滞在時間の比較(分)

(単位:分)

■全出動平均滞在時間 ■外国人傷病者平均滞在時間



救急ボイストラの特徴

- 救急現場で救急隊員が外国人傷病者に対して、円滑なコミュニケーションを図ることが可能。
- 外国語による音声と画面の文字によりコミュニケーションを実施。
- 救急現場で使用頻度が高い会話の内容を46の「定型文」として登録。
- 定型文対応言語は15種類。

使用画面のイメージ

The figure consists of four screenshots of the Voice Tra app:

- 使用開始 (Start Screen):** Shows the app logo "Voice Tra Multilingual Speech Translation App For travelers" and the NICT logo.
- 言語選択 (Language Selection):** A list of languages with microphone icons. "English" is selected and highlighted with a red box.
- 定型文選択画面 (Script Selection Screen):** A list of 46 pre-recorded scripts. One script, "いつまで元気でしたか" (When was the patient feeling fine until?), is highlighted with a red box.
- ワンタッチで翻訳発音 (One-Touch Translation and Pronunciation):** A communication screen. It shows a message from the other person: "患者さんはいつまで元気でしたか。" (When was the patient feeling fine until?). Below it, a message from the user asks for the time: "[通報する直前] [今日] [それ以前]" (Just before I called, Today, Earlier). At the bottom, there are buttons for "English" and "日本語" (Japanese), with "日本語" checked.

使用例



定型文対応言語

英語	中国語(簡体字)	中国語(繁体字)
韓国語	スペイン語	フランス語
タイ語	インドネシア語	ベトナム語
ミャンマー語	マレー語	ロシア語
ドイツ語	ネパール語	ブラジルポルトガル語

救急ボイストラの導入状況

導入状況(令和8年1月1日現在)

都道府県	全消防本部数	導入本部数	導入率(%)	都道府県	全消防本部数	導入本部数	導入率(%)
北海道	58	56	96.6%	滋賀	7	7	100.0%
青森	11	11	100.0%	京都	15	15	100.0%
岩手	12	12	100.0%	大阪	24	24	100.0%
宮城	11	11	100.0%	兵庫	24	24	100.0%
秋田	13	13	100.0%	奈良	3	3	100.0%
山形	12	12	100.0%	和歌山	17	16	94.1%
福島	12	12	100.0%	鳥取	3	3	100.0%
茨城	24	24	100.0%	島根	9	9	100.0%
栃木	12	12	100.0%	岡山	14	13	92.9%
群馬	11	11	100.0%	広島	13	13	100.0%
埼玉	26	26	100.0%	山口	12	11	91.7%
千葉	31	31	100.0%	徳島	13	13	100.0%
東京	5	5	100.0%	香川	9	9	100.0%
神奈川	23	22	95.7%	愛媛	14	14	100.0%
新潟	19	17	89.5%	高知	15	13	86.7%
富山	7	6	85.7%	福岡	24	23	95.8%
石川	11	9	81.8%	佐賀	5	5	100.0%
福井	9	7	77.8%	長崎	10	8	80.0%
山梨	10	7	70.0%	熊本	12	9	75.0%
長野	13	13	100.0%	大分	14	13	92.9%
岐阜	20	20	100.0%	宮崎	10	10	100.0%
静岡	16	16	100.0%	鹿児島	20	20	100.0%
愛知	34	30	88.2%	沖縄	18	18	100.0%
三重	15	15	100.0%	合計	720	691	96.0%

○全国の消防本部に対して平成29年4月から提供を開始し、

令和8年1月1日現在、720本部中691本部が使用している(96.0%)。

⇒詳しくは、消防庁HP参照

https://www.fdma.go.jp/mission/enrichment/gaikokujin_syougaisya_torikumi/torikumi.html

救急ボイストラ導入に向けての参考情報

財政支援

タブレット端末等(スマートフォンを含む)配備にかかる費用のための支援

- 市町村に対する財政措置として、多言語音声翻訳アプリも利用できるタブレット型情報通信端末等(タブレット端末やスマートフォン)を、救急自動車に配備するためには必要な端末費や通信費について、普通交付税措置が講じられている。

→常備消防費の救急業務費に、
「**ICT推進(タブレット端末の配備等)費用**」として、
人口10万人規模の標準団体あたり263千円(令和7年度)を措置



タブレット端末等(タブレット端末、スマホ)導入条件

- 対応OS(2026年1月1日現在)
 - Android OS 10.0以降
 - インストール時は、Android OS の Google Play のページ
 - iOS 16.0以降
 - インストール時は、iOS の App Store のページ
- ※上記バージョン未満の端末は必ずバージョンアップしてください

導入するための手続

- 市町村(消防の事務を処理する一部事務組合等を含む)
「救急ボイストラ導入意向調査書」及び「救急ボイストラ利用規約同意書」を作成し、各都道府県に提出。
- 都道府県
市町村(消防の事務を処理する一部事務組合等を含む)から提出された上記書類を、消防研究センター救急ボイストラ担当に提出。

【救急ボイストラに関する通知等】

- >「多言語音声翻訳アプリ「救急ボイストラ」の提供開始」(平成29年4月18日付け消防救第60号通知)
- >「多言語音声翻訳アプリ「救急ボイストラ」iOS版の提供開始について」(平成30年1月10日付け消防救第222号通知)
- >「多言語音声翻訳アプリ「救急ボイストラ」の一部のタブレット型情報端末等における利用停止について」(平成31年1月31日付け事務連絡)
- >「平成31年度消防予算案及び平成30年度消防庁第2次補正予算案並びに平成31年度の消防防災に関する地方財政措置の見通し・その他留意事項について」(平成31年1月25日付け事務連絡)
- >「外国人・障害者に円滑に対応するための取組について」(平成31年3月28日付け消防消第80号、消防救第53号、消防情第15号消防庁次長通知)

【連絡先】

- <導入、技術> 消防研究センター 救急ボイストラ担当
TEL: 0422-44-8474 FAX: 0422-42-7719
E-mail: kyukyuvocetra@fri.go.jp
- <その他> 消防庁 救急企画室 救急連携係
TEL: 03-5253-7529
E-mail: kyukyukikaku-kyukyurenkei@soumu.go.jp